

(様式第1号)

指定管理者制度導入施設モニタリング票 (評価対象年度：令和5年度)

施設の名称	名取市子育て支援拠点施設
指定管理者の名称	マザー・ウイング・子育て支援ARIママネット共同事業体
施設所管部課(室)	健康福祉部こども支援課

1. 管理形態の推移 【施設所管課記入】

期 間	管理形態	指定管理者(管理受託者)	摘要
平成31年4月17日～令和6年3月31日	指定管理者	マザー・ウイング・子育て支援ARIママネット共同事業体	

(注) 管理形態欄には、直営・管理受託・指定管理者の別を記入

2. 現指定管理者の概要 【施設所管課記入】

指定管理者の名称	名称	マザー・ウイング・子育て支援ARIママネット共同事業体
	所在地	仙台市太白区日本平9-13
指定期間	平成31年4月17日～令和6年3月31日(4年11ヶ月)	
募集方法	公募・非公募	

3. 施設の概要 【施設所管課記入】

施設の名称	名取市子育て支援拠点施設(cocoI'11(ここいる))		
所在地	名取市杜せきのした五丁目3番地の1 イオンモール名取		
設置年月	平成31年4月17日		
根拠条例等	名取市子育て支援拠点施設条例		
設置目的	小学校就学の始期に達するまでの者及びその保護者に交流の場を提供するとともに、子育てを総合的に支援し、もって子育て家庭の福祉の増進に寄与するため、子育て支援拠点施設を設置する。		
施設の内容	赤ちゃんひろば、ふれあいひろば、相談室(授乳室)、オムツ交換室、エントランス等		
開館時間	水曜日を除く月曜日～日曜日 午前9時～午後5時		
休館日	水曜日、祝日の翌日、年末年始(12/29～1/3)		
指定管理者が行う管理運営業務	乳幼児及びその保護者同士の交流の場の提供に関する業務、子育てに係る相談に関する業務、子育てに係る情報の収集及び提供に関する業務、子育てに係る事業を行う者等と連携した子育て支援に関する業務、拠点施設の目標を達成するために市長が必要と認める業務、拠点施設の維持管理に関する業務		
利用料金制度	採用の有無	有	無
	利用料金の名称		

4. 施設の利用実績 【指定管理者記入】

	評価対象年度（A）	前年度（B）	前々年度	評価対象年度の 対前年度比（％） （A） / （B）
	令和 5 年度	令和 4 年度	令和 3 年度	
開催日数	306日	300日	301日	102.0%
延べ利用者数	21,169人	14,164人	12,162人	149.5%
利用者数（人/日）	69.2人/日	47.2人/日	40.4人/日	146.6%
主な増減原因	5月からコロナウイルス感染症が5類となり、制限がなくなったことで利用者が増えた。制限はなくなったものの、感染対策はしっかりと行ってきたことで安心して利用している様子がうかがえた。			

（注）対象施設が複数ある場合は、施設ごとに記入すること。

5. 管理運営の収支状況 【指定管理者記入】

（1）収入

（単位：千円、％）

	評価対象年度（A）	前年度（B）	前々年度	評価対象年度の 対前年度比（％） （A） / （B）
	令和 5 年度	令和 4 年度	令和 3 年度	
指定管理料	15,043	15,300	15,300	98.3%
利用料金収入				
その他	28	15	13	186.7%
収入計（ア）	15,071	15,315	15,313	98.4%

（2）支出

人件費	12,357	11,840	12,606	104.4%
施設管理費	1,175	958	980	122.7%
事業運営費	968	608	1,004	159.2%
その他	488	645	695	75.7%
支出計（イ）	14,988	14,051	15,285	106.7%

（3）収支

収支（ウ）＝（ア） －（イ）	83	1,264	28	6.6%
前期繰越収支差額	2,921	1,657	1,629	176.3%
次期繰越収支差額	3,004	2,921	1,657	102.8%

6. サービス向上や利用者数の増加等のために実施した主な取り組み 【指定管理者記入】

新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、利用制限がなくなったことで来館が増え、2万人を超える利用者数となった。

また、年齢別・テーマ別のイベントなどをニーズに応じて開催することで、乳幼児親子の繋がりを促すことができ、その後の継続した来館にも繋がった。

【具体的取り組み内容】

○親子同士が出会う場の提供

「きらりん〜ママと赤ちゃんのふれあいタイム〜」「なとここ（転勤ママ）」「はじめてのcocoI' 11」などイベントを行い、より参加条件があるイベントでは同じ条件の親子同士で情報交換を行うなど、積極的な交流が見られた。また、「なとここ（双子）」では、イベント終了後に「今後も定期的に集まりたい」との声があり、グループ化することができた。集まる場の提供や利用できる施設の情報提供をするなどのサポートを行い、毎月の集まりを実施することができている。

○産前産後の支援

助産師さんを講師に迎え、第1子妊娠中の夫婦を対象にした「welcome Baby！プレパパ・ママ講座」や生後2か月〜5か月までの親子を対象とした「助産師サロン ぽかぽか」を年4回ずつ開催した。妊娠期からcocoI' 11を知ってもらうことで、産後のcocoI' 11来館に繋がっている。また、同じ月齢の子を持つ親同士で悩みの共有や情報交換をすることで、親子の孤立を防ぐ効果が見られている。

○きめ細やかな相談対応

新規登録の際や日常のひろばの中で、利用者と信頼関係が築けるように心掛けたことで、居場所として日常的に来館してくれる親子が多かった。また、子育ての不安感・負担感の軽減を図るため、親同士の悩みの共有ができる場として、「育ちの楽校」を開催した。令和5年度は「発達の気になる子育て」として子どもの発達についてのグループ相談を開催することができた。

また、令和4年度に引き続き、親自身の体調不良や精神面、夫婦関係、家族関係の相談が増えてきていることもあり、個別相談として「こころん」を開催し、必要な支援に繋がった。

また相談の内容によって、保健センターなど専門機関に繋がられるよう、情報を共有し双方での親子支援に努めた。

7. 施設利用者の主な声やその対応状況 【指定管理者記入】

利用者からは「赤ちゃんの時からこういう場所があるので、安心して子育てを楽しむことができている」「親も子もリフレッシュできる」「1人で来てもスタッフが声をかけてくれて、他の親子とお話ができるので居心地が良い。」という声を多くいただいた。

感染症対策としての制限はなくなったが、引き続き安心して利用できるよう、消毒の徹底や利用者用の消毒タオルをこまめに確認し補充するなどの工夫をしながら開館した。

父親の利用を促進するため、父親向けのイベント「0ちゃんのぽぱいる」「ぽぱサンデー」を毎月開催することで利用するきっかけとなり、その後の利用に繋がっている。休日は父親の利用が多くあるため、温かく迎え入れる雰囲気づくりを大切に、居心地よく過ごせるようにしたことで、父親の継続した利用が増えている。

また、イベントに参加した方からは「父親同士で話ができる機会が増えてほしい」「父子で参加できるイベントがもっとほしい」などの声があった。

8. 施設の管理運営における課題 【指定管理者記入】

ひとり親家庭、子どもの発達など、困難さを抱えた親への支援が課題と感じている。親向け講座や専門家への相談事業などを実施するとともに、必要な方に周知できるよう広報を工夫していきたい。

子育て中の親のエンパワメントや活動の支援、地域連携として地域ボランティアの育成に力をいれていく。

9. 管理運営状況 【施設所管課及び指定管理者記入】

評価項目		着眼点	自己 評価	所管 評価
1. 実施 体制に 関する 評価	管理運営体制	管理運営に必要な人員配置、組織体制を整備している。	○	○
		業務に必要な職員研修や教育等を適切に行っている。	○	○
		各種管理記録を適切に整備、保管している。	○	○
	施設等の維持 管理等	施設、設備等の清掃、保守点検、修繕等を適切に行っている。	○	○
	安全対策	日常の安全管理や緊急時のマニュアル整備等の体制を整備している。	○	○
	個人情報の 保護	個人情報の管理を適切に行っている。	○	○
	連絡調整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	○	○
		市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	○	○
	法令等の遵守	特定の者に有利又は不利な取扱いをしていない。	○	○
		開館時間、休館日、使用許可等の運用が法令等に基づき適正に行われている。	○	○
		労働条件等に関する労働関係法令等が遵守されている。	○	○
		その他、関係法令等が遵守されている。	○	○
2. サー ビスの 内容や 水準に 関する 評価	指定事業の 実施	事業計画書等に基づき適切に事業を実施している。	○	○
		業務の再委託は事前に市の承諾を受け、委託先の業務を適切に管理している。	○	○
	自主事業の 実施	施設の設置目的に沿った自主事業を実施している。	◎	○
	利用者の満足 度向上	利用者の満足度向上に向けた取組みを行っている。	◎	○
	利用者の苦情、 要望等の把握 とその対応	利用者アンケートなど、利用者ニーズの把握にむけた取組みを実施している。	○	◎
		苦情、要望等について、受付窓口の整備や対応を適切に行っている。	○	○
	利用状況等	利用者数、稼働率等は、前年度実績や目標と比較し妥当な水準である。	○	◎
3. 経営 状況に 関する 評価	収支状況等	事業計画書等に基づく妥当な事業収支である。	○	○
		経費の節減や使用料収入の向上に向けた取組みを行っている。	○	○
		専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理事務を行っている。	○	○

【評価の基準（目安）】

評価		評価の考え方
◎	（優 良）	協定書や事業計画書等より優れた内容で管理運営を行った。
○	（良 好）	協定書や事業計画書等に基づき適正な管理運営を行った。
△	（課題有）	協定書や事業計画書等を下回る内容であり、一部の業務に改善が必要である。
×	（要改善）	協定書や事業計画書等に基づく管理運営が適切に行われなかったため、改善を要する。

※該当しない項目については、「―」を記入する。

10. 施設所管課の総合評価 【施設所管課記入】

新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い制限が緩和されたことで徐々に利用者の数も以前の水準に戻ってきている。

親子同士が会える場をつくり、交流や情報交換できるようテーマを設けて、感染対策に注意しながら実施し魅力ある施設として広報を行ったことで利用者数に反映されているのではないかと推察される。

また、子育ての不安感・負担感の軽減のための丁寧な相談を実施し、必要に応じて専門機関につなぐなど居心地が良い空間づくりをしており、また、第1子妊娠中の夫婦や転勤者、父親など利用ターゲットを分かりやすく明示し、利用促進や継続的に利用できるよう工夫をしていることも評価できる。

施設で実施している利用者アンケートの満足度が例年高い水準にあり、令和5年度も満足度の高い評価を得られていたことから、継続して利用者が安心して利用のできる質の高いサービスの提供ができるよう、今後も努めていただきたい。